

図書館かがわ

香川県立図書館報 第110号

発行日 2016.2.16

Library Kagawa

ISSN 1344-5464



読書家だった、大平正芳氏

「大平文庫」を開設しました

平成28年2月16日より当館閲覧室郷土資料コーナーに、新たに「大平文庫」を開設しました。

香川県で初めて内閣総理大臣になった故大平正芳氏は、昭和40年10月、同郷の子弟の訓育に心を傾け、観音寺市にあった自らの事務所に「大平文庫」を開設し、数千冊の蔵書を地元の人々の利用に供してきました。昭和60年6月、財団法人大平正芳記念財団が設立され、「大平正芳記念館」を開館し、大平氏の遺品や関係資料を収集・展示して、ひろく一般の研究に役立てることにしました。

平成27年3月、大平正芳記念館の閉館にともない、その蔵書をはじめとし、大平氏の著書や研究書、大平正芳記念賞受賞作など約8500冊が大平正芳記念財団から当館に寄贈され、「大平文庫」として開設しました。

読書家として知られていた大平氏の蔵書は、政治・経済だけではなく、哲学・歴史・文学など多岐にわたっています。

2月16日（火）から4月17日（日）までは、大平文庫開設記念展示「大平正芳の生涯と愛した本たち」を開催しています。

「**大人のための図書館探検ツアー**」

「**おやこde図書館探検**」

を開催しました。

昨年（2019年）10月24日（土曜日）、図書館に興味のある大人を対象に、図書館を身近に感じていただけるよう、「大人のための図書館探検ツアー」を2年振りに実施しました。

ご参加いただいた16名の皆様には、70万冊を超える本が並んだ、普段は見ることのできない書庫の内部をご見学いただきました。戦後70年に合わせて、空襲を逃れた貴重な資料や、終戦直後の高松市街の写真などもご覧いただきました。参加者の皆様は、興味深い様子で本を手にとって見たり、熱心に写真をのぞき込んだりされていました。

11月3日（火曜日・祝日）には、図書館に興味のある小学生とその保護者を対象に、図書館に対する理解を深めてもらうとともに、親子の触れ合いやご家庭での読書の機会を増やすきっかけとなればと、昨年度に引き続き「おやこde図書館探検」を実施しました。

23名（うち、小学生13名、保護者10名）の参加があり、書庫内で電動書架を動かしたり、親子で協力して本探しをしたりしました。1階児童資料コーナーでは、カウンターでの接客に挑戦していただきましたが、子どもたちの接客のかわいらしい様子は、カウンターに訪れた他の利用者からも好評でした。図書館や本に関するクイズ大会では、参加者全員がすべてのクイズに正解し、大変盛り上がりしました。

県立図書館では、これからも、利用者の皆様に本や図書館への興味や親しみを持っていただけるよう、イベントなどを開催していきます。

「おやこde図書館探検」
（広い書庫にびっくり！）



「大人のための図書館探検ツアー」
（貴重な資料に注目！）

この本オススメです！

～図書館の本棚からピックアップ～

「醤油本—醤油を見つけて醤油を知り醤油を楽しむ本」

高橋万太郎，黒島慶子／著（玄光社）

2015. 5

（請求記号：5886／T5）



和食の調味料の代表
醤油

皆さんは、醤油（しょうゆ）について、どれくらい知識をお持ちでしょうか。本書は、食材を一段とおいしく変身させる魔法の調味料でありながら、あまりに日常的で当たり前の存在である醤油に焦点をあて、様々な情報を提供しています。

醤油の原型は、魚や野菜、穀物の保存を目的とした塩漬けであり、次第に食事をおいしくするための調味料へと進化してきたという醤油の歴史を紹介しています。

醤油の生産量が全国5位である香川県の中心産地小豆島。ここでは、全国的に数少なくなった木桶仕込みの醤油が特徴で、木桶の中に醤油づくりに欠かせない微生物が住みつき、個性ある味や香りの醤油に仕上がっているそうです。

日本からの醤油の輸出や海外での醤油の生産が著しく増加している一方、日本においては今のところの食の多様化により、醤油メーカーの数や1世帯当たりの醤油の購入量は減少傾向にあるとのこと。

和食文化が、ユネスコ（国連教育科学文化機関）の無形文化遺産に登録されたのを契機に、この本を参考にして、和食の調味料の代表である醤油を見直してはいかがでしょうか。

サセックの「ジス・イズ」シリーズ
ミロスラフ・サセック／著（ブルース・インターアクションズ）

2004. 8～2007. 8

（請求記号：J/S488／1～18）



ミロスラフ・サセック
生誕100年

今年は、ミロスラフ・サセックの生誕100年に当たります。サセックは、チェコスロバキア、プラハ生まれの絵本作家・イラストレータです。代表作である世界の都市を描いた絵本「ジス・イズ」シリーズ（全18冊）は、世界中で読まれています。

このシリーズは、表紙を並べて見ると、どれも色鮮やかで、おしゃれなアートポスターのようです。初版本が出版されたのは、どれも今から50年以上前ですが、古さを感じさせない魅力的な作品です。

サセックの絵は、一見デザイン的に見えますが、ページをめくっていくうちに、実際に描く街を訪れ、街や人の様子をよく観察して描かれたのだらうということが伝わってきます。

シリーズの中の1冊『ジス・イズ・ニューヨーク』を開いてみると、タイムズ・スクエア、自由の女神などの名所だけでなく、スーパーマーケットや地下鉄など、街の人々の生活に根付いた場所も描かれています。また、交通整理をする警察官、工事をする電気屋さんなど、仕事をする人々の姿も生き生きと描かれていて、賑やかな街の音や人の話し声が聞こえてくるかのようです。

居ながらにして世界中の様々な場所を身近に感じることができる大人の方も楽しめる絵本です。

県立図書館防災設備改修工事の完了について

県立図書館では、平成27年11月16日から防災設備改修工事を実施していましたが、このたび無事工事が完了し、予定どおり平成28年2月16日から通常開館となりました。

工事期間中は、一般閲覧室が利用出来なかったり、図書館の出入口が変更になったりと、利用者の皆様には、大変ご不便をおかけすることになりましたが、ご協力ありがとうございました。

【工事中の一般閲覧室】



【工事中のエントランスホール】



【臨時の出入口】



【臨時の閲覧室（雑誌・新聞）】



通常開館にあわせて、新しいサービスや企画展示を実施し、皆様のご利用をお待ちしております。

- ・「大平文庫」の開設、記念展示
- ・「椎名六郎宛 与謝野寛・晶子書簡」一般公開
- ・拡大読書器の新設、「新着図書」コーナーの拡充
- ・子育て支援コーナー及び健やか生活応援コーナーでの展示



編集・発行 香川県立図書館

〒761-0393 高松市林町2217-19（香川インテリジェントパーク内）

TEL 087-868-0567 FAX 087-868-0607

<http://www.library.pref.kagawa.lg.jp/>